

第 1 日
社 会

(10 : 40 ~ 11 : 30)

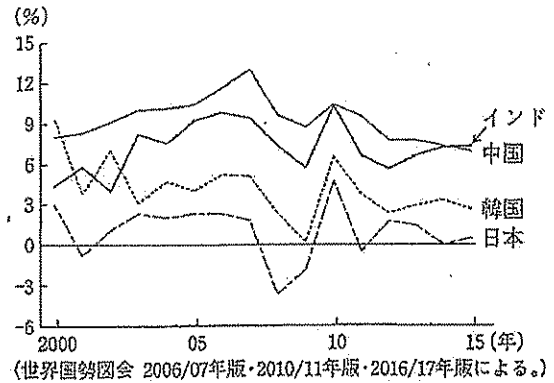
注 意

- 1 検査開始のチャイムがなるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の1ページから14ページに、問題が①から④まであります。
これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

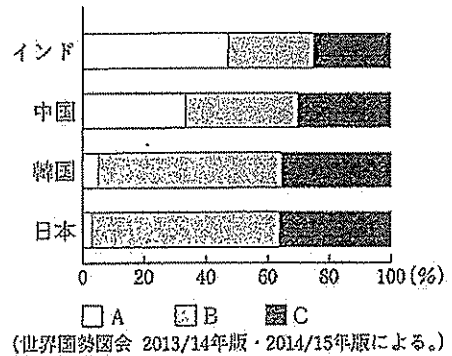
① あるクラスの社会科の授業で、生徒がそれぞれ関心のある国を一つ取り上げてテーマを設定し、追究する学習をしました。取り上げる国を考えていた太郎さんは、右のグラフⅠを見付け、中国と並んで経済成長率の高いインドに注目し、「なぜインドの経済成長率が高いのだろう」というテーマを設定し、追究することにしました。あとの1～4に答えなさい。

グラフⅠ
アジアの主な国の経済成長率の推移



1 太郎さんは、インドの産業別就業人口割合の特徴をグラフⅠ中の他の3か国と比べて考えることにしました。そのために、インドの第1次産業、第2次産業、第3次産業について、就業人口の割合の高い順を調べ、割合の高い産業から順にA、B、Cとして右のグラフⅡを作成しました。次のア～エの組み合わせのうち、適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

グラフⅡ
主な国の産業別就業人口割合



ア { A 第1次産業
B 第2次産業
C 第3次産業

イ { A 第1次産業
B 第3次産業
C 第2次産業

ウ { A 第2次産業
B 第1次産業
C 第3次産業

エ { A 第2次産業
B 第3次産業
C 第1次産業

2 太郎さんは、インドでは工業が発展して工業製品の輸出額が増加しているのではないかと予想し、インドの主な輸出品の変化について調べ、右の表を作成しました。太郎さんは表を基に、インドの工業の発展についてあとのようにまとめました。あとのア～エのうち、太郎さんのまとめの中の に当てはまる語句として最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

インドの輸出額上位5品目

1995年		2014年	
品目	輸出額 (億ドル)	品目	輸出額 (億ドル)
繊維製品	85	石油製品	620
ダイヤモンド	46	繊維製品	359
機械類	24	ダイヤモンド	241
米	14	機械類	237
魚介類	10	自動車	135
輸出総額	317	輸出総額	3,175

(世界国勢図会 1999/2000年版・2016/17年版による。)

太郎さんのまとめ

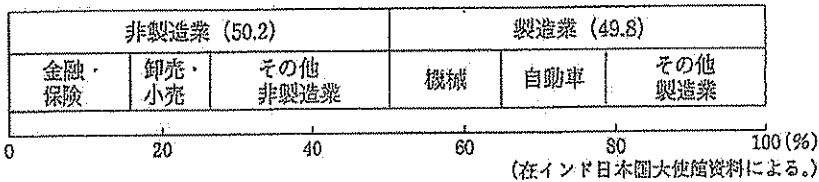
インドの工業については、表の品目や輸出額から、1995年に比べて2014年では、が
が発展したことが分かる。

- ア 軽工業に加えて、重化学工業
イ 軽工業が衰退し、重化学工業
ウ 重化学工業に加えて、先端技術産業
エ 重化学工業が衰退し、先端技術産業

3 太郎さんはインドの経済成長とともに、日本の企業がインドに進出し、日本の企業の工場や事業所の数が増えていることを知りました。次のグラフⅢは太郎さんがその理由を考えるために集めた資料の一部です。あとの(1)・(2)に答えなさい。

グラフⅢ

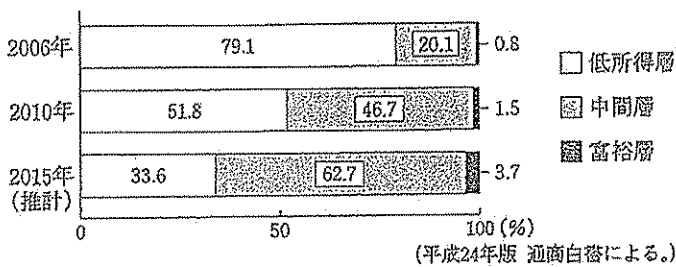
インドに進出した日本の企業の工場・事業所数の業種別割合 (2013年)



(1) 太郎さんはグラフⅢを見て、インドに進出した日本の企業の工場や事業所のうち、約半分が金融・保険や卸売・小売などの非製造業であることに気づき、その理由を考えるために資料を集めました。次のグラフⅣはその一部です。太郎さんはグラフⅣを使って、非製造業の企業の進出の理由を説明しました。太郎さんの説明はどのようなものだと考えられますか。グラフⅣを基に簡潔に書きなさい。

グラフⅣ

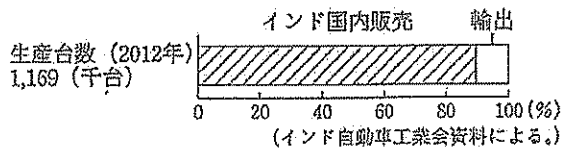
インドの所得階層別の世帯数の割合の推移



- (2) 太郎さんはグラフⅢを見て、インドに進出している製造業のうち自動車工業に興味をもち、X社について調べ、次のグラフⅤを見付けました。太郎さんはグラフⅤを見て、X社がインドに進出した理由には、「関税」が関係しているのではないかと考え、X社がインドに進出した理由を説明しました。太郎さんの説明はどのようなものだと考えられますか。グラフⅤを基に、「関税」の語を用いて、簡潔に書きなさい。

グラフⅤ

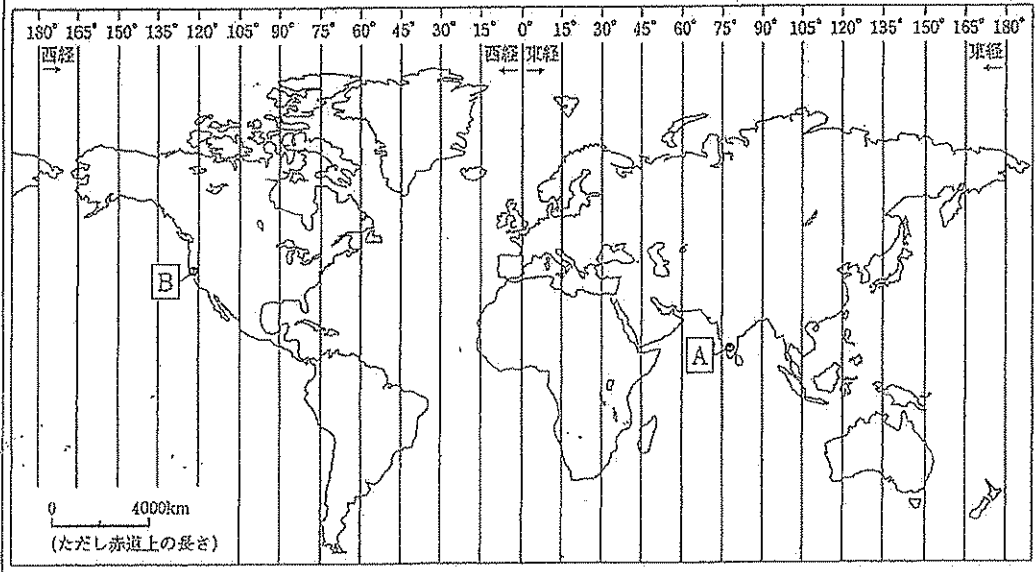
X社がインドで生産した自動車のインド国内販売台数と輸出台数の割合



- 4 太郎さんは、インドの主要な産業の一つであるIT（情報技術）産業における、インドとアメリカの企業の結び付きについて調べ、次のようにまとめました。太郎さんのまとめの中の下線部のように、アメリカのIT企業とインドのIT企業が効率的に仕事を行うことができるのはなぜだと考えられますか。太郎さんのまとめの中の地図を基に簡潔に書きなさい。

太郎さんのまとめ

次の地図中の **A**・**B** は、それぞれインドとアメリカでIT企業が集まっている主な地域を示している。地域 **B** にあるアメリカの企業が、インターネットを使って、地域 **A** にあるインドの企業にソフトウェアの開発などを発注し、翌日にインドの企業からインターネットを使って納品を受けるなど効率的に仕事を行っている。



② あるクラスの社会科の授業で、歴史的分野の学習のまとめとして、古代・中世・近世・近代・現代の時代区分に注目し、班ごとに時代の特色をまとめる学習を行いました。次の図Iはこの学習のはじめに先生が提示したものです。太郎さんたちの班では、政治の展開に注目して、まず下のカードI～Vをそれぞれ作成しました。あとの1～5に答えなさい。

図I

世紀	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
時代区分	古代						中世				近世				近代	現代
	古墳		奈良	平安			鎌倉	南北朝	室町	戦国	安土桃山	江戸			明治	昭和
飛鳥												大正				

カードI

古代には天皇と貴族を中心とする朝廷による政治が行われた。そのうち、奈良時代には、律令に基づく政治が確立して、①朝廷への権力集中が進み、朝廷の支配する地域も拡大した。

カードII

中世には、②武士が台頭し、武士による政権が成立した。幕府のしくみは、御恩と奉公による將軍と御家人の主従関係を基に成り立っていた。

カードIII

近世には、③武士による強力な統一政権が成立した。江戸時代になると、幕府と藩による政治が行われた。幕府は大名や朝廷などを法で統制して政治を行った。

カードIV

近代には天皇を中心とする新政府が成立した。④近代化を目指し、廃藩置県や学制、兵制、税制などのさまざまな改革が行われ、大日本帝国憲法が制定され、帝国議会が開かれた。

カードV

現代には国民主権の考え方に基づく政治が行われるようになった。第二次世界大戦後、⑤民主化政策が行われ、日本国憲法が制定され、議院内閣制が導入された。

1 下線部①に関して、次のア～エのうち、日本の国のおこりや天皇を中心とする朝廷が日本を治める由来などを示すことを目的として、奈良時代につくられた書物はどれですか。その記号を書きなさい。

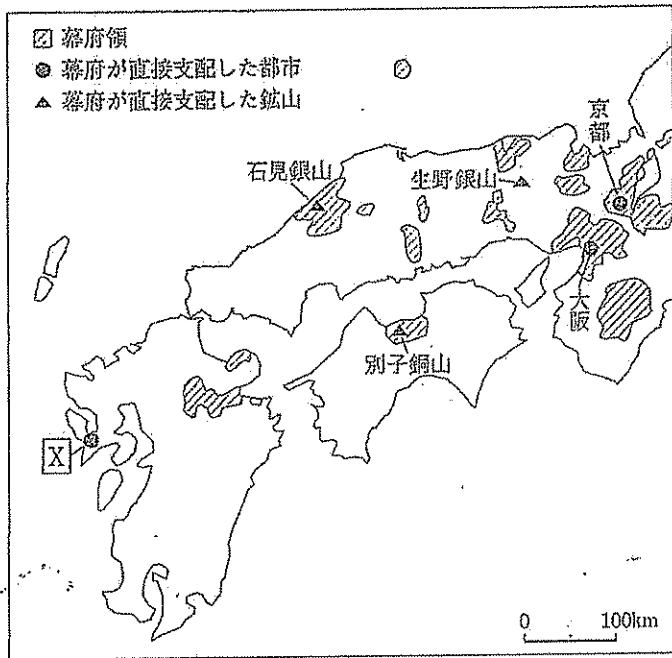
- ア 「源氏物語」 イ 「解体新書」
ウ 「新古今和歌集」 エ 「日本書紀」

2 下線部 ② に関して、太郎さんは武士が11世紀半ばから12世紀半ばころにかけて勢力を伸ばし、政治に力を及ぼすようになったことに興味をもちました。太郎さんはその理由を考えるために、次のA・Bのできごとにおける武士の役割について調べ、それを基に下のようにまとめました。11世紀半ばから12世紀半ばころにかけて、武士が勢力を伸ばし、政治に力を及ぼすようになったのはなぜだと考えられますか。太郎さんのまとめの中の に当てはまるように書きなさい。

- A 11世紀半ばころ、東北地方で豪族の反乱が起こる。
- B 12世紀半ばころ、保元の乱・平治の乱が起こる。

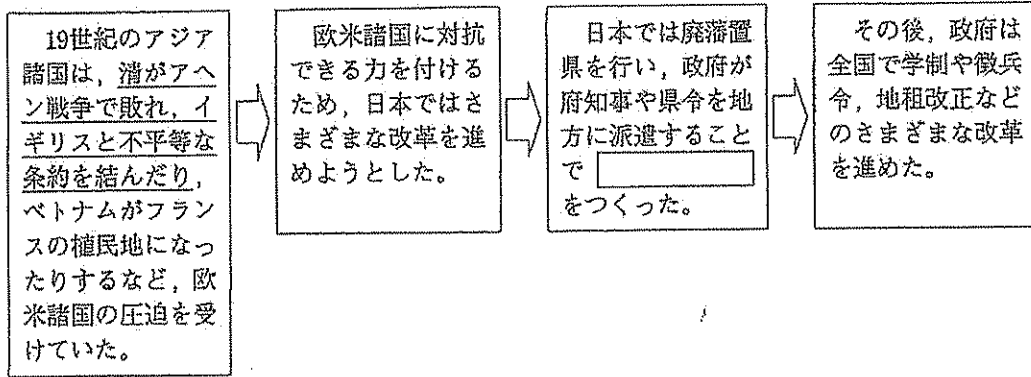
太郎さんのまとめ
 Aでは地方の反乱を鎮めるために武士が動員されたのに対し、Bでは の決着をつけるために武士が動員された。このことから、武士の役割が次第に大きくなり、政治に力を及ぼすようになったことが分かる。

3 下線部 ③ に関して、花子さんは江戸幕府が強い権力を維持するために行ったことに興味をもち、調べると次の地図のように江戸から離れた西日本にも幕府が直接支配した地域があることが分かりました。地図中の の都市を直接支配することが、権力を維持することにつながったのはなぜだと考えられますか。その理由を、地図中の の都市名を挙げて、簡潔に書きなさい。



- 4 下線部 ④ について、次郎さんはさまざまな改革の中で廃藩置県が最初に行われた理由に興味をもち、19世紀のアジアの状況が関係しているのではないかと考え、その状況と廃藩置県が最初に行われたことを関連付けて次の図Ⅱにまとめました。下の(1)・(2)に答えなさい。

図Ⅱ

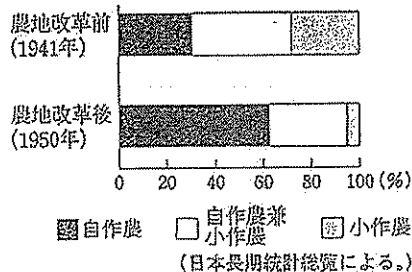


- (1) 図Ⅱ中の下線部について、清がイギリスに香港を譲り、上海など五つの港を開くことになったこの条約を何といいますか。その名称を書きなさい。

- (2) 図Ⅱ中の [] に当てはまる内容を書きなさい。

- 5 下線部 ⑤ に関して、咲子さんは戦後の民主化政策の一つとして農地改革が行われたことに注目しました。咲子さんは右のグラフを見て、農地改革が行われた結果、農村において、経済面での平等化が進んだと考えました。咲子さんがそのように考えた理由を、グラフを基に簡潔に書きなさい。

農地改革前後の自作・小作別農家数の割合



- ③ あるクラスの社会科の授業で、班に分かれて企業の活動について調べることになりました。太郎さんたちの班では、コンビニエンスストアに興味をもち、主なサービスがいつごろ導入されたのかを中心に調べ、次の表Ⅰにまとめました。あとの1～4に答えなさい。

表Ⅰ

時期	コンビニエンスストアの状況と導入された主なサービス
1970年代	<ul style="list-style-type: none"> ・東京に日本で初めてコンビニエンスストアが開店する。 ・24時間営業が始まる。
1980年代	<ul style="list-style-type: none"> ・電気料金などの公共料金の取り扱いが始まる。 ・宅配便の取り次ぎが始まる。
1990年代	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサートなどのチケット発券が始まる。 ・地方公共団体と災害時の支援協定が結ばれるようになる。 ・銀行のATM（現金自動預け払い機）の設置が始まる。
2000年代	<ul style="list-style-type: none"> ① <u>日本全国のコンビニエンスストアの年間販売額が百貨店の年間販売額を上回る。</u> ② <u>一部の医薬品の販売が始まる。</u>
2010年代	<ul style="list-style-type: none"> ・日本全国のコンビニエンスストアの店舗数が5万店を超える。 ・住民票の写しなどの行政証明書の取り扱いが始まる。 ③ <u>車両による移動販売が始まる。</u>

- 1 下線部 ① に関して、太郎さんたちはコンビニエンスストアが販売額を伸ばす工夫について考えるために、コンビニエンスストアの特徴とそこで使われているPOSシステムについて調べました。次の資料Ⅰ・Ⅱは太郎さんたちが調べた資料の一部です。下の(1)・(2)に答えなさい。

資料Ⅰ	資料Ⅱ
<p>コンビニエンスストアの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売場面積が100m²程度で比較的狭い店舗が多く、1日の営業時間が14時間以上である。 ・<u>主に弁当や飲料などの食料品を販売している。</u> ・本部と契約して加盟店になる形式の店舗が多く、商品は本部を通じて配送される。 	<p>POSシステムについて</p> <p>販売時に商品のバーコードを読み取り、価格の計算をすると同時に、いつ、どこで、何がどれだけ売れたのかをデータとして把握するシステム。</p>

- (1) 資料Ⅰ中の下線部について、このような形のある商品のことを、サービスに対して何といいますか。その名称を書きなさい。
- (2) コンビニエンスストアでは、販売額を伸ばすために、POSシステムを用いてどのような工夫を行っていると考えられますか。資料Ⅰ・Ⅱを基に簡潔に書きなさい。

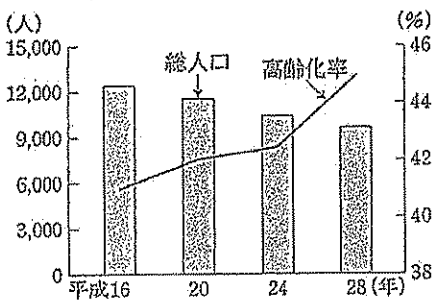
2 下線部 ② について、花子さんが調べるとかつては薬局のみで販売されていた医薬品が、許認可権を見直す規制緩和の取り組みにより、コンビニエンスストアなどでも一定の条件付きで販売できるようになったことが分かりました。花子さんはこのことに関して効率の視点で考え、次のようにまとめました。花子さんのまとめはどのようなものだと考えられますか。花子さんのまとめの中の に当てはまるように書きなさい。

花子さんのまとめ
 コンビニエンスストアなどで一部の医薬品が販売されると、 ため、消費者にとって効率的であるといえる。

3 下線部 ③ について、次郎さんが調べると自分の住む県のA町でもコンビニエンスストアによる移動販売が2012年（平成24年）に始まったことが分かりました。次郎さんはその理由を「A町で高齢化が進んでいるためではないか」と予想し高齢化と消費の関係について調べ、次のグラフⅠ・Ⅱ及び表Ⅱを見付けました。次郎さんはこれらの資料を使って、A町でコンビニエンスストアによる移動販売が始まった理由を説明しました。次郎さんの説明はどのようなものだと考えられますか。グラフⅠ・Ⅱ及び表Ⅱを基に、簡潔に書きなさい。

グラフⅠ

A町の総人口と高齢化率の推移



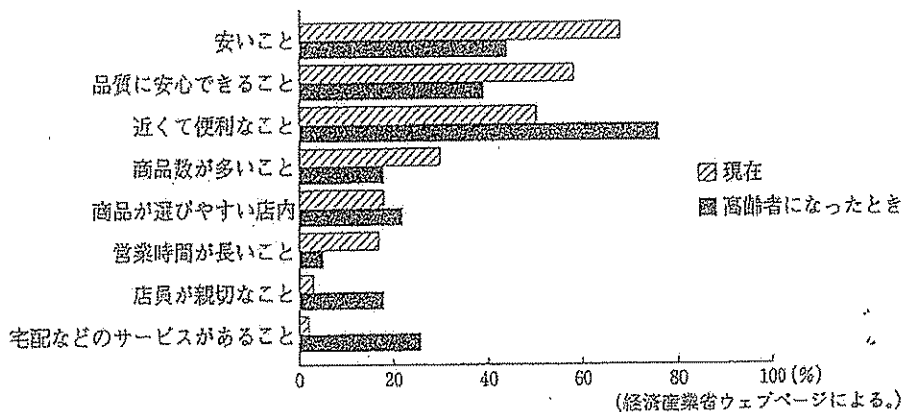
表Ⅱ

A町の小売店の数の推移

平成16年	193
平成20年	185
平成24年	127
平成28年	115

グラフⅡ

現在及び高齢者になったときの買い物に関する消費者意識調査
 「食料品・日用品を買うとき何を重視しますか？」



4 太郎さんは、コンビニエンスストアが売上げを伸ばすために行っている工夫について考えるために、資料を集めました。次の表Ⅲは太郎さんが資料を基に作成したものであり、コンビニエンスストアとスーパーマーケットにおける買い物1回当たりの平均購入金額を示しています。下の資料ⅢはAコンビニエンスストアで商品を購入したときの2枚のレシートです。太郎さんは、Aコンビニエンスストアが売上げを伸ばすために行っている工夫を、表Ⅲと資料Ⅲを関連付けてどのようにまとめました。Aコンビニエンスストアでは、売上げを伸ばすためにどのような工夫を行っていると考えられますか。資料Ⅲの2枚のレシートからそれぞれ読み取ることができる内容を具体例として取り上げ、太郎さんのまとめの中の に当てはまるように書きなさい。

表Ⅲ

	コンビニエンスストア	スーパーマーケット
買い物1回当たりの平均購入金額	606円	1,825円

(コンビニエンスストア統計調査月報、スーパーマーケット年次統計調査報告書による。)

資料Ⅲ	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">Aコンビニエンスストア a店</p> <p style="text-align: center;">2017年11月1日(水) 17:00</p> <p style="text-align: center;">領 収 書</p> <p>もみじ天然水 ￥123</p> <p>合計 ￥123</p> <p>(内消費税等 ￥9)</p> <p>お預り ￥150</p> <p>お釣り ￥27</p> <p>お買上明細は上記のとおりです。 商品価格には消費税等を含みます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>本のお取り寄せサービス</p> <p>ご注文・お受け取りは店頭で 送料・手数料無料!</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">Aコンビニエンスストア a店</p> <p style="text-align: center;">2017年11月11日(土) 11:00</p> <p style="text-align: center;">領 収 書</p> <p>のり弁当 ￥430</p> <p>お茶 ￥135</p> <p>合計 ￥565</p> <p>(内消費税等 ￥41)</p> <p>お預り ￥600</p> <p>お釣り ￥35</p> <p>お買上明細は上記のとおりです。 商品価格には消費税等を含みます。</p> <p style="text-align: center;">-----<キリトリ線>-----</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>税込350円以上の弁当に使える 弁当50円引き券</p> <p>ご利用期間 2017/11/7(火)~11/20(月)</p> </div> </div>

太郎さんのまとめ

コンビニエンスストアは、買い物1回当たりの平均購入金額はスーパーマーケットの約3分の1と少ない。その一方で、Aコンビニエンスストアでは ことによって売上げを伸ばそうとしている。

4 ある中学校で社会科の学習のまとめとして「地域と地域のつながり」をテーマにして、生徒それぞれが課題を設定して追究する学習をしました。右の資料Ⅰはこの学習のはじめに先生が提示した、課題を設定する際の視点です。あとの1～4に答えなさい。

資料Ⅰ

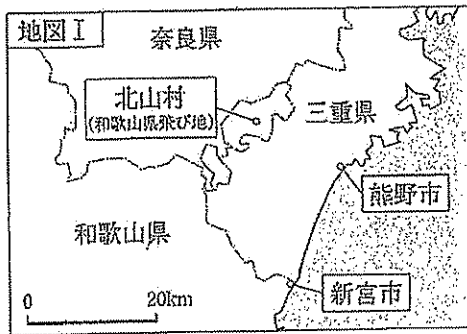
○地域と地域のつながりを考える視点

A 地理的なつながり

B 歴史的なつながり

C 政治的なつながり

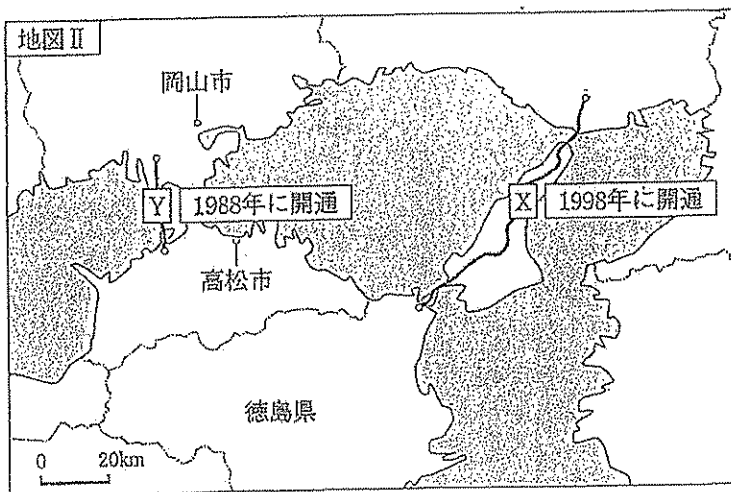
1 太郎さんは、資料Ⅰ中のAの視点から、右の地図Ⅰ中の北山村が和歌山県に属している理由について調べ、次のようにまとめました。太郎さんのまとめの中の下線部について、花子さんは「木材を港まで運ぶのに、距離的に近い熊野市ではなく、なぜ遠い新宮市まで運んだの?」と質問しました。太郎さんはその質問に対して、北山村と新宮市を結び付けた自然条件にふれて説明しました。太郎さんの説明はどのようなものだと考えられますか。簡潔に書きなさい。



太郎さんのまとめ

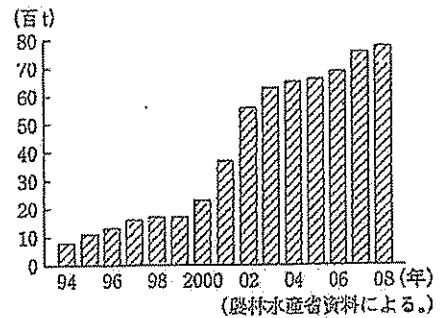
- ・北山村は林業が盛んで、江戸時代から昭和時代まで、伐採した大量の木材を新宮市まで運び、販売していた。木材は、新宮市の港から大阪まで運ばれた。
- ・明治時代に、新宮市と同じ和歌山県に属することを望む住民の意見も取り入れて、北山村を和歌山県とすることが決定された。

2 花子さんと咲子さんは、資料Ⅰ中のAの視点から、道路の整備による地域と地域のつながりについて調べ、次の地図Ⅱを見付けました。地図Ⅱ中の[X]と[Y]は、本州と四国を結ぶ二つのルートを示しています。あとの(1)・(2)に答えなさい。



(1) 花子さんは、地図Ⅱ中の **X** ルートの開通による徳島県への経済的な影響に興味をもち、徳島県で生産が盛んな地鶏について調べ、考えたことを次のようにまとめました。右のグラフⅠはそのときに使ったものです。咲子さんは、花子さんのまとめの中の下線部の結論を説明するには、グラフⅠだけでは不十分だと判断しました。咲子さんがそのように判断したのはなぜだと考えられますか。その理由を、簡潔に書きなさい。

グラフⅠ
徳島県産の地鶏の出荷量の推移

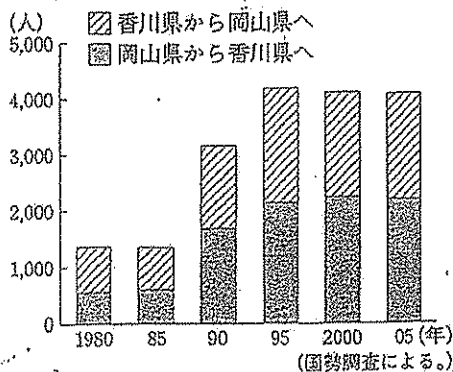


花子さんのまとめ

グラフⅠのように、徳島県産の地鶏の出荷量が2000年以降で大きく増えているのは、地図Ⅱ中の **X** ルートが1998年に開通して、地鶏を本州に出荷しやすくなった影響が、2000年以降あらわれてきたためと考えられる。

(2) 花子さんは、地図Ⅱ中の **Y** ルートの開通による岡山県と香川県の間の日当りの通勤・通学者数の変化について調べ、次のグラフⅡと資料Ⅱを見付けました。花子さんはグラフⅡ中の1985年以前と1990年以降の日当りの通勤・通学者数の変化を読み取り、**Y** ルートの開通後、岡山県と香川県の間で1日当りの通勤・通学者が増えている理由を、資料Ⅱを基に説明しました。花子さんの説明はどのようなものだと考えられますか。資料Ⅱを基に、**Y** ルートの開通による交通手段の変化にふれて、簡潔に書きなさい。

グラフⅡ
岡山県と香川県の間の1日当たりの通勤・通学者数の推移



資料Ⅱ

岡山市と高松市の間を移動する際の主な交通手段及び最短時間

Y ルートの開通前	Y ルートの開通後
<p>岡山市</p> <p>↑ ↓</p> <p>宇野港</p> <p>↑ ↓</p> <p>高松市</p> <p>(最短時間 2 時間10分)</p>	<p>岡山市</p> <p>↑ ↓</p> <p>高松市</p> <p>(最短時間 1 時間13分)</p>
<p>鉄道または、バスまたは、自家用車</p> <p>フェリー</p>	<p>鉄道または、バスまたは、自家用車</p>

(国土交通省四国地方整備局資料による。)

- 3 咲子さんは、鹿児島県と岐阜県が姉妹県の協定を結んでいることを知り、その理由について、資料Ⅰ中のBの視点で調べると、江戸時代に行われた薩摩藩による治水工事がきっかけであることが分かりました。咲子さんはさらにその工事について調べ、次のカードⅠにまとめました。カードⅠ中の下線部について、江戸幕府が薩摩藩にこのような治水工事を命じたのはなぜだと考えられますか。その理由を、カードⅠを基に江戸幕府の大名統制のしくみを踏まえて、簡潔に書きなさい。

カードⅠ

- ・治水工事は、江戸幕府が薩摩藩に命じたもので、木曾三川（揖斐川・長良川・木曾川）に堤防を築く工事だった。
- ・工事期間は1年余りで、薩摩藩は費用のほぼ全額に当たる40万両（約300億円）を負担した。これは藩の1年間の収入に近い額だった。工事期間中、薩摩藩の武士約千人が現地に滞在して働き、80数名の犠牲者を出した。
- ・薩摩藩の石高は70万石を超えており、全国第2位だったが、工事費用が足りず借金をしなければならなかった。

- 4 次郎さんは、資料Ⅰ中のCの視点から、地方公共団体が協定を結び交流していることについて調べると、右の地図Ⅲ中の川場村は1980年7月、世田谷区と相互協力協定を結び交流を始めたことが分かりました。次のカードⅡは川場村と世田谷区のそれぞれのような様子、カードⅢは川場村と世田谷区の交流の様子を次郎さんがそれぞれまとめたものです。あとの(1)・(2)に答えなさい。



カードⅡ

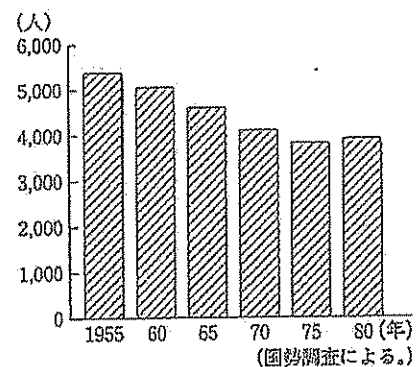
〔川場村について〕

- ・村の面積の約80%が森林である。主な産業は農業や林業であり、現在はブランド米やりんご、ブルーベリーの栽培に力を入れている。

〔世田谷区について〕

- ・1970年代に都市化が進み、区の人口が急増し現在80万人を超えている。宅地開発により、自然が少なくなり区民の自然とふれ合う機会が減った。

川場村の人口の推移



カードⅢ

〔川場村と世田谷区の交流について〕

- ・協定締結後、川場村と世田谷区は、共同で保養所と研修施設を川場村につくった。
- ・川場村では、農業体験や郷土料理教室など数多くのプログラムを準備し、村を訪れた世田谷区民に提供している。
- ・世田谷区立のすべての小学5年生は、毎年、川場村で農作業やハイキング、郷土料理づくりなどを体験している。多くの区民が川場村の保養所などに宿泊し、スポーツや自然とふれ合うことを楽しんでいる。
- ・川場村では、農産物を直売所などで販売しているほか、世田谷区内のお祭りやイベントに出向き、農産物の直売や伝統芸能の披露などを行っている。

(1) 川場村では、カードⅡ中のグラフが示すように人口が変化したことで、村の産業が衰え、人々の生活に影響を及ぼすようになりました。このような、人々の生活に影響を及ぼす人口の変化を何といいますか。その名称を書きなさい。

(2) 川場村では、世田谷区との交流が、カードⅡ中のグラフが示すような人口の変化を防ぐことにつながると考えました。交流が、グラフが示すような人口の変化を防ぐことにつながるのなぜだと考えられますか。その理由を、カードⅡ・Ⅲを基に簡潔に書きなさい。